



2022年7月4日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース第72号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. アフリカ・カカオ UPDATE: 雨による作物への影響により輸送の問題は緩和された(6/28)

- ・ 主要な生産地で道路に被害をもたらした豪雨は、先週には収まった。
- ・ 生産者は投入資材の入手性とコスト上昇に不安を残す。

西アフリカの主要生産地でカカオ農園へのアクセスや豆の輸送を困難にしていた豪雨は先週、コートジボワール南東部を除き緩和されたが、依然として作物には恩恵をもたらしている。

豪雨は概して樹木に好都合だが、一部の生産者はプランテーションへのアクセスや、収穫物を販売するセンターへのカカオの配送を困難にしていた。コートジボワール南西部のロボゾアで農業を営む Jeannot Zadi 氏は、最近の洪水による道路への被害はそれほど大きくはない、と語る。

それでも、ノエの生産者によれば、状況が正常に戻るまで農地へのアクセスに問題があるため、同国南東部の一部の作業が停止しているとのこと。

雨の天候が作物を助ける一方で、生産量トップのコートジボワールと生産量2位のガーナの生産者は、農薬や肥料などの投入物の入手可能性とコスト上昇に懸念を抱いているようです。ガーナ政府は無料の農薬散布サービスを提供していますが、生産者はこのシステムの効率性と資材費の高さを嘆いていると、アクラ北部のクワルベンの生産者団体の長、マイケル・アチャンポン氏は述べています。

西アフリカの他の地域では、ナイジェリアでの雨は樹木にとって良い兆候であり、メインクロップの収穫は早ければ8月下旬に始まるかもしれないと、南東部のイコム付近の生産者、エガク・オコンが述べています。カメルーンでは作物は順調だが、生産者は高い肥料代と輸送ルートの損傷に不満を抱いていると報告された。

2. EU、コートジ、ガーナおよびカカオ産業界は持続可能なカカオに関する提携で合意(6/28)

EU、コートジボワール、ガーナおよびカカオセクターは本日、カカオをより持続可能なものにするための作業を強化することに合意した。

本日開催された持続可能なカカオのためのハイレベルイベント「ココア・トークス」において、彼らは、カカオの生産と取引の経済的、社会的、環境的持続可能性を改善するための野心的ロードマップである「持続可能なカカオに関する提携」を共同で承認した。

これまでの2年にわたる議論の末、すべての関係者は、西アフリカにおけるカカオのサプライチェーンの持続可能性を改善するために、一連の具体的な期限付きの行動を約束した。これらの行動は、森林破壊と児童労働を止め、農民の生活所得を改善することを目的としている。これらのコミットメントは全員によって承認され、今後注意深く監視されることになる。

イベントの冒頭、バルディス・ドンブロフスキス執行副委員長兼通商担当委員は、次のように述べました。

「サステナブル・カカオ・イニシアティブは、目覚ましい発展を遂げています。アフリカのパートナーとともに、私たちは、生産者、産業界、取引業者、消費者など、すべての人に利益をもたらす前向きな変化のためのムーブメントを築いてきました。今日、私たちは次のステップに進みます。具体的な行動計画を備えた強力なサステナブル・カカオ・アライアンスを承認するのです」と述べています。世界最大のカカオの輸入国であるEUには、我々が口にするチョコレートやカカオが持続可能な方法で生産されていることを確認する明確な責任がある。この同盟は、貿易をより持続可能なものにするためのEUのアプローチの好例であり、パートナーとの協力によって真の変化をもたらすものである」。

ユッタ・ウルピライネン国際パートナーシップ担当委員は、経済的繁栄と環境および社会の持続可能性の相互関係について、「ロシアの不当なウクライナ侵攻をきっかけに、世界が未曾有の世界食糧危機に直面する中、サプライチェーンの回復力と持続可能性が差し迫った優先事項となっている。アフリカやヨーロッパの現地生産者と政策立案者との定期的な対話の促進は、カカオセクター全体にとって付加価値を生み出します。先日、西アフリカへのミッションでカカオ農園を訪問した際、私はこのことを身をもって体験しました。グローバル・ゲートウェイの下で支援されている新しい“Alliance for Sustainable Cocoa”を通じて、私たちは、持続可能かつ倫理的なカカオの生産方法を実現するための革新的なソリューションを実施することができます。

コートジボワール・ガーナ・ココア・イニシアティブの事務局長であるアレックス・アッサンヴォ閣下は、次のように述べています。「持続可能なカカオのためのアライアンスは、バリューチェーンの再構築の必要性について共通の認識を持ち、持続可能なカカオのバリューチェーンの経済的側面を強化し、生活所得に完全に合った価格を生産者に提供するために共に行動する機会を提供していきます」

重要なことは、アライアンスが、生産国とカカオセクターが、森林破壊と企業の持続可能性のデュー・ディリジェンスに関する来るべきEU法の実施に備える助けとなることである。ココア・トーク、そしてそれに続く関係者のアライアンスとロードマップは、持続可能な貿易と開発政策を実施し、グリーンディールの目的の一部を実現するために協力する革新的な方法の一例を示しています。

今回の合意の背景

EUは世界最大のカカオ関連商品の輸入国であり、世界の輸入量の60%を占めています。コートジボワール、ガーナ、カメルーンは、46億ユーロ（2021年）相当のカカオをEU市場に供給する主要な供給国である。これらの国は、それぞれの経済連携協定に基づき、無税および無割当のアクセス権を持っている。

多くのカカオ生産者はすでに貧困ライン以下かそれ以下の生活をしており、より持続可能な製品に対してより良い価格を得る必要がある。2020年9月、欧州委員会は、カカオの生産と取引の持続可能性を高めるための「持続可能なカカオイニシアティブ」を立ち上げた。2021年には、EUのカカオ分野の関係者とガーナ、コートジボワール、カメルーンの代表者が集まり、8つの仮想円卓会議「Cocoa Talks」を開催した。ガーナとコートジボワールも並行して国別対話を開催し、カメルーンも同様に開始しました。並行して、経済連携協定の枠組みでカカオの持続可能性に関する議論も続けられています。

カカオのサプライチェーン問題は新しいものではありませんが、EUの消費者の期待の高まりと、サプライチェーンをより持続可能なものにしようというEUの強い政治的野心に応えた取り組みです。この取り組みは、フォン・デア・ライエン大統領の「児童労働に対するゼロ・トレランス・アプローチ」を基礎とし、EUのサプライ

チェーンにおける企業の持続可能性に関するデュー・ディリジェンスや、EU の消費フットプリントに関連する世界的な森林減少や森林劣化への取り組みに関する、現在進行中の作業に反映されるものである。

コートジボワールでは、EU と欧州投資銀行が 2 億ユーロを超える資金を拠出する予定である。2021 年には、コートジボワールのための国家多年間指標プログラム 2021-2027 の下で、グローバル・ゲートウェイの一環として「持続可能なカカオ」イニシアティブの実施を支援するために、1800 万ユーロのプログラムが約束された。2022 年と 2023 年にはさらなるアクションが予見される。

ガーナでは、2023 年まで、グリーン・トランジション、アグリビジネス、カカオを支援するプログラムを含め、カカオ部門に対する EU の貢献は少なくとも 1,200 万ユーロに達する。カカオは、「スマート、グリーン、デジタル復興」に関するグローバルゲートウェイの下、チーム・ヨーロッパ・イニシアティブの「気候スマート農業、アグリビジネス、天然資源管理」コンポーネント内のバリューチェーンとしても扱われる予定である。また、セクター改革とその実施のためのカカオ生産に関する体系的な政策対話にも焦点が当てられる予定である。

*今回の合意内容を添付（但し英語版のみ）

3. コートジボワールのカカオに大雨が降るも、洪水を恐れる生産者も (6/28)

コートジボワールのカカオ産地の大部分で先週降った平均以上の雨は、次の 10 月から 3 月のメインクロップの開発には良いが、更にもっと多くの水分は損害を与える可能性があるとして、生産者は月曜日に述べた。

世界トップのカカオ生産国のコートジボワールは 4 月から 11 月中旬まで雨季に入り、生産者は西部の Soubre 地域、南部の Agboville と Divo 地域、東部の Abengourou 地域で先週、異常に多くの雨が降ったと報告している。カカオの果実を収穫するのも、収穫後の豆を乾燥させて保存するのも大変だったと生産者は語った。

「先週の雨はとても強かった」と、アグボビル近郊で農業を営むアレクサンドル・ボニ氏は語った。雨量は 128.1mm で、5 年平均を 70mm 上回った。「畑が水浸しになる恐れもある」と付け加えた。

先週 99mm 以上の雨が降った Soubre と Abengourou でも同様の懸念が語られ、それぞれ 5 年平均を夫々 47.5mm と 46.7mm 上回った。

西中央部のダロア、中央部のボンガヌ、ヤムスクロでは、雨量も平均を上回り、10 月のメインクロップのスタートに向けて木々に花が繁茂し、生産者は喜んでいと語った。

「今のところ、天候は良い。9 月からたくさんのカカオが収穫できるかもしれません」と、先週、降雨量 71.8mm と昨年平均を 44mm 上回った Yamoussoukro 近郊の生産者、Amani N' Guessan は話しています。

また、コートジボワールの先週の週間平均気温は 24.8~27.7 度だった。

4. 森林破壊を防ぐための EU のトレーサビリティ計画に対し、産業界が警告を発する (7/3)

EU は、企業が EU 市場に出す製品に使用されているカカオ豆、大豆、パーム油の正確な原産地を追跡することを求めている。産業界のいくつかは、これはほとんど不可能な作業であり、莫大な投資が必要になると警告している。

欧州委員会は、森林破壊や森林劣化に関連する製品を禁止する法律の提案において、地理的位置情報とトレーサビリティの要件を中核に据えている。この規制は、法律として成立させるためには、まだ EU 加盟国間での議論が必要だが、コーヒー、ココア、大豆、パーム油、牛、木材、そして革やチョコレートなどの派生製品を対象としている。

具体的には、農園の GPS 座標を正確に把握し、衛星画像で森林破壊の証拠と照合し、現地に行って畑を評価し、農場から工場まで製品をデジタルで追跡し、森林破壊のリスク評価と緩和策を実施することになる。

欧州委員会は、製品が栽培または収穫された土地の正確な区画を特定することを企業に強制することが、この制度の重要なポイントであると主張している。欧州委員会の提案では、ほとんどの企業が法律施行後 12 ヶ月以内に遵守することになっている。しかし、業界団体は、特に大豆やパーム油のような商品については、それは非現実的であると言う。

「コロンビアのパーム油生産者連盟のニコラス・ペレス・マルランダ会長は、最近ブリュッセルを訪問した際、EU 当局者と会談し、この法案に対する懸念を表明した。

パーム油の加工工場は通常、さまざまな生産者からパーム果実を購入し、それらをブレンドする。つまり、1つのバッチに、森林破壊のリスクがあるとされる地域とリスクがないとされる地域の果実が含まれている可能性がある、と同氏は述べた。業界の各方面から緩やかな規則を求めるロビー活動が展開されているが、NGO からは、企業がサプライチェーンのクリーンアップをもっとうまくやらないと、EU の新規制は歯が立たないという批判が出ている。

「土地の区画まで遡ってのトレーサビリティを求めないのであれば、システムの乱用や数字の調整、企業のデューデリジェンスにおける手抜きの可能性を残すことになり」と、法的慈善団体 Client Earth の気候・森林弁護士 Jody Quirke は述べています。

「だから、より正確で精密な場所であればあるほど良い...そして、それを実現するための技術も存在する」



*インドネシア・スマトラ島リアウ州での森林伐採

コストのかかる投資

業界団体によれば、コーヒーとカカオは追跡が比較的容易で、他の商品ではまだ達成されていない基準を既に設定しているとのこと。

「コーヒーやカカオでは、豆を別の袋に入れたり、ブロックチェーンを使ったりして、豆の全行程を追跡することができます」とペレス・マルランダは述べています。

オランダのチョコレートメーカー Tony's Chocolonely は、透明性とトレーサビリティをビジネスモデルの中心に据えています。一夜にして実現したわけではないことを強調、指摘しています。

同社はまず、カカオを調達している農園を地図化し、保護区に位置していないことを確認し、農園周辺の土地で森林破壊が行われていないことを衛星画像で監視する必要性がありました。

「数年かかりました」と、インパクト部門の責任者であるポール・シェーンメイカーズは言います。2012年にトレーサブルサプライチェーンを構築し始めたときは、「みんなに笑われました」。

また、シェーンメイカーズ氏は、チョコレート業界内からのEU新ルールに対する懸念を払拭し、企業は必要な投資を行うための「十分すぎるほどの資金」を持っていると述べた。

「企業はサプライチェーンで起きていることに責任を持つ必要があります」と彼は主張し、EUの立法者に「遅れている企業が正しい方向に進むよう圧力を感じるようにする」よう求めた。

「確かに、GPSマッピングやシステム構築、チェック、現地視察などには時間と労力、そして費用もかかりますが、決して不釣り合いなことではありません」と同氏は述べた。

食品大手ネスレのESG担当副社長であるBart Vandewaetere氏によれば、パーム油業界はトレーサビリティに関して、より厳しい上り坂に直面しています。

生産者の正確な所在地や精製所、工場、独占的な営業権や調達ルートに関する透明性の欠如を指摘し、「プランテーションまでのトレーサビリティは可能ですが、大規模に展開するためには、まだ大きな課題を克服する必要があります」と述べています。「このような情報は得られないことが多く、時には影の企業の利用によって不明瞭になることさえあります。

ネスレは、パーム油の90%はすでに森林破壊のないものであり、大豆の80%はリスクの低い地域から調達していると言っています。

しかし、大豆の正確な原産地を追跡することは困難であり、ネスレは現在、大豆の粉碎場所までしか追跡できないとVandewaetereは付け加えている。

EUの新ルールを見越してコロンビアでパーム油の追跡システムに取り組んでいるPérez Marulanda氏は、「非常にコストが高い」と述べており、パーム果実を生産者ごとではなく産地ごとに追跡する方が効率的だと主張する。しかしそれは、EUが検討していることと完全に一致するものではないだろう。

飼料メーカー、植物油メーカー、油脂商社などの業界は、「生産国の一部の生産者がこの要件を満たしたとしても、小農や協同組合の地理的位置情報の収集には、技術、物流、法律、ガバナンスなどの重要な課題があり、企業だけでは対処できない」として、大きな心配や懸念を寄せている。

Pérez Marulanda氏によると、コロンビアでパーム油の強固なトレーサビリティシステムを構築するには、2000万ユーロから2500万ユーロのコストがかかるという。これは初期投資に過ぎず、EUのルールが発効すれば、このセクターを完全に遵守させるためにさらなる資金が必要になると指摘する。

森林破壊のない製品を保証することは、ヨーロッパの消費者にとって代償となる、と彼は警告した。

「ヨーロッパの消費者が森林破壊や労働慣行、人権に懸念を抱いていることは理解しており、我々はその解決策の一部になる用意がある」「しかし、より持続可能な生産を行うためのコストは、我々全員が共有する必要がある」

元記事：https://www.politico.eu/article/industry-warn-against-eu-traceability-plan-prevent-deforestation/?utm_medium=social&utm_source=Twitter

5. ナイジェリアのジョンベンツ社、5,000MTのカカオを加工、外貨獲得の為、輸出推進(6/30)

ナイジェリアのアクレの近代的なココア加工工場の落成から6ヶ月が経過し、ジョンベント・インダストリーズ・リミテッドは、約5,000トンの輸出用ココアを加工したことを明らかにしました。

JILのマネージング・ディレクターであるジョン・アラムは、12月に行われた同社の業績評価のためのステークホルダー・セッションで、水曜日にこのことを明らかにしました。

アラム氏は、国の外貨獲得を強化するために、同社が加工ココアをヨーロッパ、米国、アフリカ南部に輸出したことを説明しました。

彼は、「ココアケーキとココアバターは、Johnvents Industries のココア加工ビジネスにおける2つの主要な派生物であり、昨年12月に生産を開始して以来、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ南部のいくつかの国に輸出するために約5000トン相当の製品を加工してきました」と述べた。

「私たちは、ナイジェリア最大のココア加工工場の1つを運営しており、工場の改修と操業開始のために30億ナイラ（≒10億円）以上を投資しています。今日、私たちは、ココアケーキ、バター、パウダーの加工において、ナイジェリアを代表する企業の1つであることを誇りに思っています。」

また、アラム氏は、「半年間で、発足時に設定した目標の達成に向けて順調に進んでいることを誇りに思います。生産能力の稼働率は、2021年12月の20%から、2022年5月には66%に向上しています。」と述べました。更に、2021年の操業開始時には、数百人の労働者が同社に従事すると予測し、現在200人以上が工場働いていると強調した。

JILのビジネス・セールス・オペレーション部門のマネージャーであるキャロライン・オモトシヨは、短期間で地元と世界のバリューチェーンに質の高い影響を与えることを決意したと説明しました。

オモトシヨは、「私たちは、小売製品であるジョンベンツ・ピュア・ココア・パウダーを地元市場に導入しました。私たちは、ココアケーキやココアバターを輸出するだけでは不十分だと考えており、ナイジェリアの人々が食生活に健康的な食事を取り入れ、ココアの恩恵を享受できるようにしたいと考えています。

「また、Johnvents Industries Limited は、生産者や現地の仲買いのパイヤーに多大な投資を行っています。私たちのエコシステムには、5,000人の生産者がいます。私たちは、生産者集団に適切な農法について教育し、苗木や世界的に承認された農薬などの支援も行っています」

6. ナイジェリアのクロスリバー州、ブラックポッドを誘発する可能性のある降雨(6/30)

ナイジェリア・イバダン---ナイジェリアで2番目に大きいカカオ生産地クロスリバー州は、ブラックポッド病の発生につながり、2022-23年シーズンのメインクロップに影響を与える可能性のある程の降雨を受けていると、業界関係者が水曜日に述べた。

ナイジェリア・ココア協会の前会長である Sayina Riman 氏（以下、リマン氏）は、カカオ農園でブラックポッドが発生する恐れがあるが、降雨量は十分にあると話している。

「私たちは、現在、太陽と雨の両方を得ています。生産者は、ブラックポッドから新物のメインクロップを守るために、しっかりと農薬の散布する準備をしているところです」とリマン氏は述べました。「8月のメインクロップ早期収穫への希望はまだ残っています」と彼は付け加えました。これは、生産州で通常メインクロップの収穫が始まる9月より1ヶ月早い収穫の可能性があるという事だ。

しかし、業界では、通貨安による化学薬品やその他の投入物の価格上昇により、生産者がブラックポッド対策用の殺菌剤を十分に購入できないことが懸念されています。

ある化学薬品販売業者によると、カカオ農園でブラックポッドを防ぐために使用される殺菌剤の50グラムの小袋のコストは、今年の初めには320~340 NGN（≒110円前後）であったのが現在は410~425 NGN（≒140円前後）で販売されているとのこと。

「ナイラ安により価格が上昇し続ければ、生産者はブラックポッドを取り除くのに十分な殺菌剤を購入することが難しくなります」と彼は述べました。

ナイラ相場は、10月の1米ドル=409NGNから現在は415.60NGNに、パラレルレートは約2ヶ月前の575NGNから現在は614NGNになっています。

*ブラックポッドとは、日照のない定期的な雨のため、カカオ農園の湿った環境で繁殖する病害の事である。

7. 危機に瀕したガーナが考えを改め、IMFに支援を要請(7/2)

西アフリカ最大の経済国の一つであるガーナは、数百人が街頭で生活苦の高まりに抗議した後、国際通貨基金（IMF）と支援策について正式に協議すると、政府は1日発表した。

ナナ・アクフォ＝アド大統領と IMF 専務理事のクリスタリナ・ゲオルギエヴァによる電話会談を受け、内閣は木曜日の会合でこの決定を支持した。



*2022年6月13日、コートジボアールのアビジャンで開催されたアフリカ CEO フォーラムに出席し、パネルで話すガーナのナナ・アクフォ＝アド大統領。

金、ココア、石油の産地であるガーナは、アナリストが債務危機に近いと警告しているにもかかわらず、パンデミック、横行するインフレ、通貨の下落によって機能不全に陥った経済を救うために IMF の支援を求めることを今まで拒否してきた。

IMF は、ガーナの支援要請を確認し、今後数週間のうちに当局との協議を開始する予定であることを明らかにした。

「IMF は、ガーナがマクロ経済の安定性を回復し、債務の持続可能性を守り、包括的で持続可能な成長を促進し、ウクライナでの戦争と長引くパンデミックの影響に対処するために支援する準備がある」と、IMF の広報担当者はロイター通信に述べた。

中央銀行のアーネスト・アディソン総裁は5月、ガーナが2022年第1四半期に9億3450万ドルの国際収支赤字に直面し、前年同期の4億2990万ドルと比べたと述べた。

アナリストは、この決定は必然的なものであり、ガーナがその課題に対処するのに役立つはずだと述べた。

アクラにある財政研究所のエコノミスト兼研究員である Leslie Dwight Mensah 氏は、「ガーナにとって最初の収穫は、危機を乗り越えるためのガーナの能力と努力に対する国際的な信頼が向上することでしょう」と述べました。ガーナのドル建てソブリン債は急騰し、2027年満期の銘柄は1ドルで7セント以上跳ね上がり、5月以来最も高い水準で取引された。投資家は、ガーナが IMF の支援の条件として、主要20カ国・地域（G20）の共通枠組みプロセスを通じて債務を再編成しなければならないと予想するかどうかで意見が分かれた。新興市場資産運用会社アバードンのケビン・デイリー氏は、「IMF が何らかの形で債務再編を要求することになるため、市場が IMF プログラムに熱狂するという点で、上昇には限界がある」と述べた。

ウィリアム・ブレアのイベット・バブ氏は、共通フレームワークについて「長引き、非常に困難で、我々の見解では効果のないプロセスを経るのは好ましくない」と述べた。今週、アクラでは何百人もの人々が、急騰するインフレやその他の問題に抗議するために街頭に立ちました。2022年第1四半期の成長率は前年同期比3.3%に鈍化し、インフレ率は5月に27.6%という記録を打ち立てた。

中央銀行は先月、マクロ経済の安定を補強するため、主要金利を200ベーシスポイント引き上げ19%とし、今年2回目の引き上げを行った。

元記事：<https://www.reuters.com/world/africa/crisis-hit-ghana-changes-its-mind-turns-imf-help-2022-07-01/>

8. コートジボアール新物、6/20-6/26の週間着荷数量は25,860トン(6/27)

政府のデータに詳しい人物によると、コートジボワールの生産者は先週、25,860トンのカカオを港に出荷した。前年同時期の数量は22,156トンであった。10月1日のシーズン開始からの総着荷数量は、約227万トンとなっており、過去最高であった昨年同時期の推定値230万トンに近い数字

下記は、同国内のカカオ豆の買受先の一覧である。最大の買い手は、バリーカレボアのグループ企業であるSaco社や、Olam Internationalの関連企業であるOutspan, やCargillなどの企業である。

以下は、10月1日から6月19日までの上位各社の購入量(単位:トン)の表である。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	303,967
アウトспан(オーラムグループ)	284,469
Saco社(バリーカレボアグループ)	281,080
Touton社	145,474
S3C社	142,987
その他企業	1,111,335
合計	2,269,312

9. 最近のカカオ豆、ココア製品価格状況(7/1)

Market	Product	Terms	Delivery	Last Update	Last Price	Cur/unit	Area	Forward
SOFTS	COCOA RCI Good Fermented	Cif N.W.Europe	APR/MAY22	04 May 22 23:00	2243.75	EUR/mT	CI	
SOFTS	COCOA GHANA Good Fermented	Cif UK Hull	APR/MAY22	04 May 22 23:00	2362.25	EUR/mT	GH	
SOFTS	COCOA NIGERIA Fair	Cif N.W.Europe	APR/MAY22	04 May 22 23:00	2160.75	EUR/mT	CI	
SOFTS	COCOA ECUADOR ASS	Cif N.W.Europe	APR/MAY22	04 May 22 23:00	2362.25	EUR/mT	EC	
SOFTS	Dutch COCOA, Butter	EXW Amsterdam	MAY22	04 May 22 23:00	3661.75	GBP/mT	NL	
SOFTS	German COCOA Butter	EXW N.W.Europe	APR/MAY22	04 May 22 23:00	4172.75	EUR/mT	DE	
SOFTS	German COCOA Butter Ratio	EXW N.W.Europe	APR/MAY22	04 May 22 23:00	2.02	Ratio	DE	
SOFTS	German COCOA Mass /Powder	EXW N.W.Europe	APR/MAY22	04 May 22 23:00	3470.50	EUR/mT	DE	
SOFTS	German COCOA Mass Ratio	EXW N.W.Europe	APR/MAY22	04 May 22 23:00	1.68	Ratio	DE	
SOFTS	German COCOA Powder 10/12 AKL	EXW N.W.Europe	APR/MAY22	04 May 22 23:00	2955.00	EUR/mT	DE	
SOFTS	German COCOA Powder Ratio	EXW N.W.Europe	APR/MAY22	04 May 22 23:00	1.43	Ratio	DE	

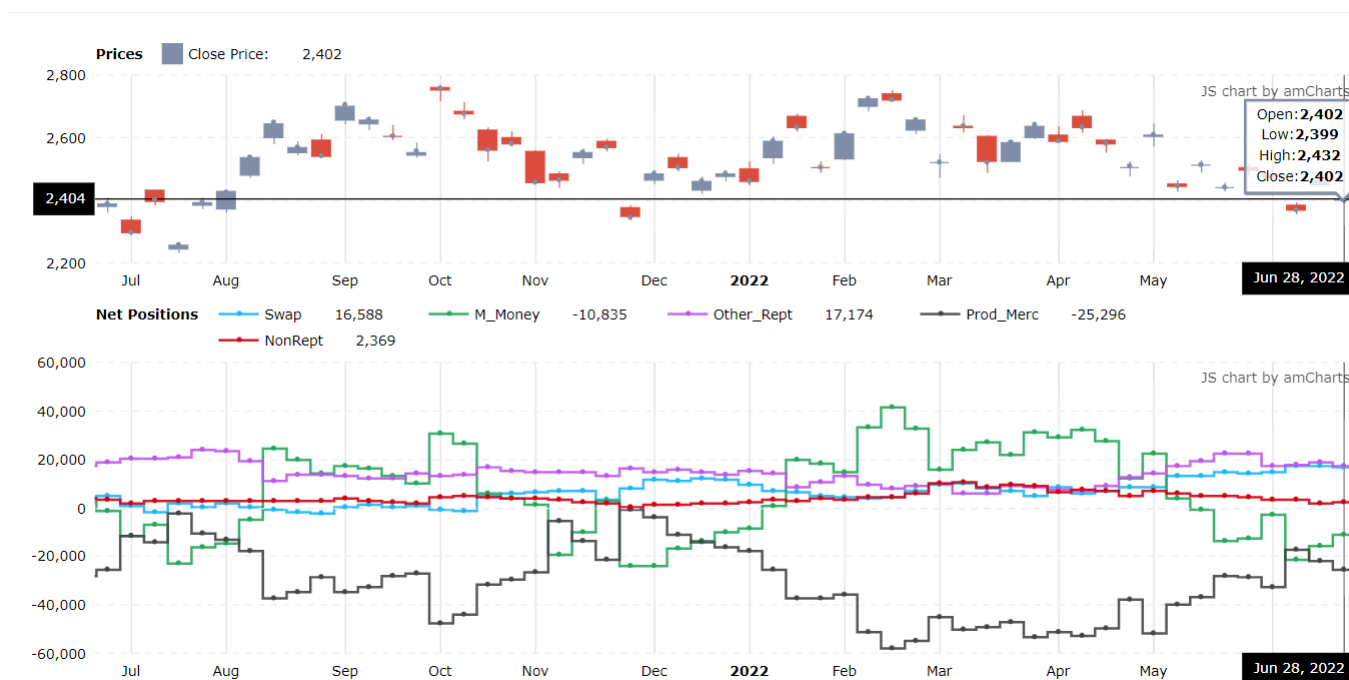
10. ファンド勢のNY先物は純売り越しポジションが減少(7/2)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純売り越しポジションを 4,488 ロット減少 (先週は 5,377 ロット増加) させ、10,793 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、6月28日) の取引が含まれている。

- 総買い数量は 1,648 減少 (先週 1,740 増加) し、65,909 となった。
- 純売り越し数量は過去 3 週間で最も少ない。
- 総売り数量は 6,136 減少 (先週は 3,637 減少)、76,702 ロットとなった。

参考分析資料；過去 1 年の NY 市場の実需家 VS 投機筋のポジションと相場価格

Prices & Net Positions



黒線・・・カカオ磨砕業者やチョコレート製造会社など実需家

緑・・・ヘッジファンドなどの資金運用者

水色・・・投資銀行などスワップディーラー

11. ファンド勢のLDN先物は純買い越しポジションが増加(7/2)

ロンドンのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 676 増加 (先週は 5,867 減少) させ、920 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、6月28日) の取引が含まれている。

- 総買い数量は 1,228 ロット減少 (先週 4,422 ロット減少) し、20,579 ロットとなった。
- 総買い数量は過去 10 か月で最も低い。
- 総売り数量は 1,904 ロット減少 (1,445 ロット増加) し、19,659 ロットとなった。

参考) ロンドン市場の主要なプレイヤーのポジション状況

Commitments of Traders Futures and Options

ICE Futures Europe

28/06/2022

MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
28/06/2022	302235	169390	177932	32802	32233	20207	20579	19659	15566
Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader									
28/06/2022	100%	56.0%	58.9%	10.9%	10.7%	6.7%	6.8%	6.5%	5.2%
Number of Traders in Each Category									
28/06/2022	148	51	46	14	7	11	24	18	18

12. 新商品情報：ゴディバの新ドリンク

「飲むスイーツ コーヒーゼリーin カカオミルク」「飲むスイーツ コーヒーゼリーin カカオオレンジ」～2022年7月1日（金）から～

ゴディバ ジャパン株式会社（東京都港区）が展開する「GODIVA café」は、ゴディバが日本各地のシェフとともに開発する「ゴディバ マンスリー シェフズ セレクション」より、「飲むスイーツ コーヒーゼリーin カカオミルク」、「飲むスイーツ コーヒーゼリーin カカオオレンジ」を、2022年7月1日（金）から GODIVA café 東京店・飯田橋店・日本橋店・みなとみらい店の4店舗にて販売いたします。



GODIVA café4店舗限定で登場する、「ゴディバ マンスリー シェフズ セレクション」の新商品“飲むスイーツ”は、チョコレートで作ったストローでお楽しみいただける、優しいカカオミルクの味わいの「飲むスイーツ コーヒーゼリーin カカオミルク」と、爽やかなオレンジ風味のチョコレートドリンク「飲むスイーツ コーヒーゼリーin カカオオレンジ」。たっぷりのコーヒーゼリーとホイップで、まるで飲むスイーツのような満足感があります。

「ゴディバ マンスリー シェフズ セレクション」とともに記憶に残る幸せなひと時を。

元記事：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000305.000015355.html>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。